

○気持ちの良いあいさつができる子 ○進んで課題を見つけ解決する子 ○思いやりがあり節度ある行動がとれる子

# 北大和小だより

## 5月号

平成28年4月28日

大和市立北大和小学校

〒242-0001 大和市下鶴間685

Mail s-kita@ed.city.yamato.kanagawa.jp

### あいさつができる子

—何事にも前向きに挑戦していける子をめざして—

新たな学年、学級がスタートして1か月が過ぎました。子どもたちは新しい友達との出会いの中で、それぞれのペースで人間関係を広げています。

先日は、学年最初の授業参観・懇談会に多くの保護者の方々にご出席いただきありがとうございました。学級の様子や学級担任の指導方針など、保護者の皆様にお伝えする機会として有効な時間を過ごしていただけたでしょうか。

さて、本年度も学校では「気持ちの良いあいさつができる子」を指導の重点の一つとしています。先日の児童会行事「ようこそ1年生」でも学校生活の紹介の中で、6年生が「おこさあご」を取り上げ、あいさつの大切さを発表してくれました。「あいさつ」は、人と人のコミュニケーションの第一歩です。あいさつが積極的にできる子は、相手の存在をきちんと意識でき、人のつながりを上手に作っていきます。そして、元気にあいさつできる子は、何事にも臆せず前向きに挑戦していけることが多いように感じます。

子どもたちの様子を見ていますと、校舎内で廊下をすれ違う時にとてもよくあいさつをしてくれます。朝の登校の際は、個人差があって元気にできる子がいる反面、まだ目覚めていないのか表情なく通り過ぎていく子もいます。朝の見守りの旗振りをしていただいている保護者の方々にも元気にあいさつをしてほしいと思います。

この1年間、継続して声かけをして意識化を図っていきたいと考えていますが、その際、大切にしたいことが二つあります。一つは、大人が手本を見せること。大人から積極的に子どもたちに、「おはようございます。」「さようなら。」と明るく声をかけるように努めていくことが子どもの心を開きます。

もう一つは、できるだけマイナーな言葉かけをしないこと。「あいさつができていない。」「声が小さい。」などの言葉は、余計に子どもたちの気持ちを内向きにしてしまいます。「元気にあいさつできて、すばらしいね。」「明るくあいさつしてくれてうれしいな。」とあいさつすることに「よいイメージ」を持たせることが大切ではないかと考えます。

どうぞ、ご家庭でも「おかえりなさい。」「おやすみなさい」などの声かけをお願いいたします。

(校長)

4月29日～5月6日まで大型連休となります。日々の生活に気を付けて、楽しく連休を過ごしてもらいたいと思います。

#### 何かあった時の連絡先

休日に何かあった場合、以下の番号にご連絡ください。

○大和警察署(046-261-0110)

○大和市役所(046-260-5017)

